

# 教育いちかわ

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行  
市川市教育委員会  
〒272-0023  
市川市南八幡1-17-15  
TEL 334-1111

■企画編集  
市川市教育センター  
〒272-0015  
市川市鬼高1-1-4  
TEL 320-3335

## ～塩浜学園で第1回学校運営協議会が開催～

### 学校運営協議会制度とは…

学校運営協議会制度は、家庭・学校・地域がともに手を携えて学校運営に参画し、一体となって質の高い教育を提供する仕組みのことです。学校毎に学校運営協議会が設置され、保護者や地域住民などが、学校運営について広く意見を交わします。主な役割として次の3つがあります。

- ・校長の作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ・学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べること
- ・教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べること

市川市では、今後全ての公立幼稚園・学校に学校運営協議会を設置して、学校運営の一層の充実を図ってまいります。そこで、今年度は義務教育学校となった「塩浜学園」をコミュニティ・スクールに指定して、本市の学校運営協議会制度をスタートさせました。

\*コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校を指します。



学校長へ指定書を交付

### 塩浜学園学校運営協議会の様子

6月4日(土)に塩浜学園・前期課程校舎に於いて、第1回学校運営協議会が開催されました。協議会では、今後の塩浜学園をさらによくしていこうという15名の委員の方々から、様々な貴重なご意見をいただきました。また、本年度の学校運営についての基本方針の説明が校長からあり、全会一致で承認されました。塩浜学園の今後の取組が一層注目されます。

協議会の様子



### 【第1回学校運営協議会次第】

- ◇指定書交付
- ◇委員の任命
- ◇学校の施設設備について
- ◇協議
- ①学校運営協議会の活動について
- ②平成28年度学校運営についての基本方針の承認及び意見
- ③地域学校協働本部について など



### ～学校運営協議会での意見交換より(抜粋)～

- ・学校運営協議会で積極的に情報交換を行い、子供たちの活動を見守っていききたい。
- ・学校運営協議会で多くのご意見をいただき、今後の塩浜学園の運営をさらによくしていきたい。
- ・学校運営協議会で議論した内容を多くの方に知っていただき、子供たちの学びや育ちを支えたい。
- ・地域の方が多く参画し、同じ目標を持って取り組んでいけば、塩浜学園がもっとよくなっていくと思う。
- ・協議会等が開催されていることを、保護者や地域の方の多くは知らないため、もっと周知していく必要がある。
- ・校内で活動している様々な団体のはたらきや組織を保護者の方に知ってもらいたい。
- ・学校運営協議会を通じて、積極的な情報発信・情報収集を行い、その時々で変化する子供たちの実態を把握しながら、健やかな成長のために携わっていききたい。
- ・具体的に取り組んでいくビジョンをつかみ、多くの方と情報を共有したい。

【教育政策課】

## 7/4 国の制度改革と市川教育④

### ～チームとしての学校と市川の取組～

#### ○チームとしての学校

昨年12月、中央教育審議会答申で「チームとしての学校」の必要性が示されました。

この「チームとしての学校」とは、校長のリーダーシップの下、学校のマネジメント機能を強化するとともに、教職員のみならず、多様な専門スタッフ(スクールカウンセラーや部活動支援員、看護師など)の参画を得て、様々な教育課題に、チームとして対応していく学校をいいます。

図で示すように、日本の学校は、諸外国に比べ専門スタッフの割合が少ないため、教員の授業以外の負担も大きく、多忙化の要因になっているとの指摘もあります。

今後、こうした専門スタッフの制度化や予算の拡充など国の動向が注目されます。

#### ○市川の取組

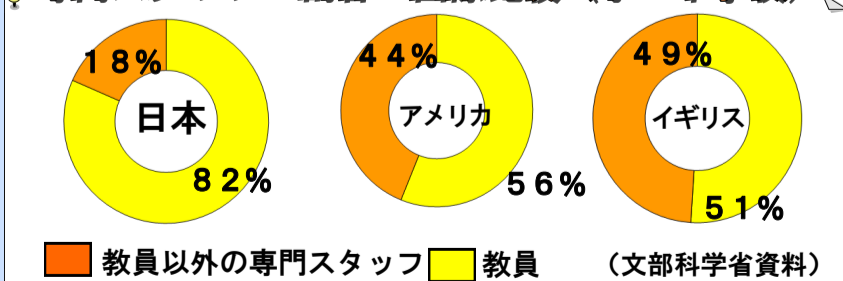
市川市では、こうした国の動きにも対応し、学校に専門スタッフを配置してきました。

#### 市川市の専門スタッフの例

- 【ライフカウンセラー】 児童生徒の精神的な悩みへの対応
- 【スクールサポートスタッフ】 特別な支援を必要とする児童生徒への学習面等のサポート
- 【まなびサポーター】 放課後や夏休み等における児童生徒への学習サポート
- 【部活動等地域指導者】 部活動等における児童生徒への専門的な指導

教育委員会としては、国の動向も踏まえつつ、引き続き、これらの専門スタッフの配置を進め、各学校がチームとして教育課題に対応できる体制づくりに努めてまいります。【教育次長】

### 専門スタッフの割合の国際比較(小・中学校)



## 仲間と一緒に乗り越えよう チャレンジャースクール

5月29日(日)、市内の小学校4年生から6年生が参加する年間5回の自然体験学習のプログラム「チャレンジャースクール」が始まりました。G(ジェントル:礼儀正しく)T(タフ:失敗から学ぶ)S(スマート:考えて行動する)を合言葉に、昆虫採集やたき火、ごはん作りなど、少年自然の家が主催する事業です。

29日の第1回目は「仲よくなるろう科」として、自然や友達を知り、仲よくなるろうというめあてで行いました。初めてグループで集まった朝は、みな初対面で、なかなか会話もできない様子でした。しかし、ゲームをしたり、自然観察園でクイズに挑戦しながらオリエンテーリングをしたりして一緒に時間を過ごすことで、少しずつ打ち解けていきました。午後の「梨の木ペンダント」作りでは、思い思いの図案を梨の木に描き、オリジナルの作品を楽しみな

が、仕上げていました。感想の中にも、「グループで力を合わせられて仲よくなれた」「友達と地図を見ながら探すのが面白かった」「疲れたけど普段できない体験ができた」「友達と一緒にペンダントが作れてよかった」などの自分なりの楽しみを見つけて過ごしていたことがわかりました。

第2回目には宿泊もあり、また一つ「チャレンジ」することが増えます。様々な学校から通ってくる仲間と、思い通りにならないことや不自由な体験も一緒に乗り越え、また自然の美しさや楽しさも一緒に味わい、その経験を日常の学校生活に生かしてもらるように、職員一同支えていきます。【青少年育成課】



# 学びについて 思いを語る

田中庸恵 教育長に インタビュー



## 千葉大学大学院生として学んで —58歳の挑戦—

—教育長で千葉大学大学院に通われたそうですが、その真意をお聞かせいただければと思います。

簡単に経緯をお話しします。教育長という「職」は、どのように職務遂行するかは個人に委ねられていますが、子供たちのよりよい成長を願い、尽力したいという気持ちは市区町村どの教育長も同じです。しかし、そのねらいを達成するための施策事業やアプローチの仕方などはまちまちで、子供たちへの還元も、人・物・金・情報とさまざまでしょう。

私の場合は『情報提供』に目を付けました。なぜなら、常に子供たちに学ぶ意欲を駆り立てるような新鮮で正しい情報を提供してあげたいからです。子供たちにとって優れた良い情報は、教職員がしっかり吟味する必要があります。そのためには、市教委が最新かつ正しい情報を常に貯え、適時適切に学校へ提供することが求められます。その情報源は単一方向の情報だけではなく、多面的で多方面から収集することが大事です。

このような事柄を常々考えておりました折に、市教委の定期回覧綴(通知文や書籍類の紹介など)の中に、千葉大学大学院教育学研究科(修士課程)の学生募集要項があり、私と同じ「思い」や「願い」が記されておりましたので、市川教育に最新かつ良質な教育情報を提供することができるものと確信し、58歳で受験した次第です。

—教育長の場合は、通常の勤務をしながらの受講(授業)となると思われますが、どのように単位を履修され修士論文をお書きになったのか、お聞かせいただけますか。

大学院の授業は午前8時50分から第1時限目が始まり、第7時限目の終了が午後9時10分となっています。「月～金」まで、1日あたり7コマ(1コマ90分)で構成されており、「土・日」は主に演習や集中講義となっています。

通常、現職教員の方々は、様々な修学休業制度を活用して通学されています。私の場合は勤務終了後でも間に合う「6・7時限目」及び「土・日・夏季休業中の集中講義」の履修しかできませんでした。私と同様に勤務を継続して通われている方の多くは4～6年(在籍上限)かけて大学院を修了されています。私は大変運が良く、集中講義の履修を合わせて2年間で、修了に必要な基準単位数を取得することができました。

しかし、修士論文は苦勞しました。「研究が進んでも研究主題(研究テーマ)が定まらない」「研究主題と論文内容がマッチングしない」「先行研究が見当たらず、調査結果から提言が導けない」「仮説と検証が乖離している」「実証研究結果(ケーススタディ)と予想値とのズレがある」等々があったのです。補正調査を行ったり、直接聞き取りを行ったりするなど、見直し・修正・改善を加えつつ、指導教官からの度重なる指導のお陰で、最終的に全152



ページの修士論文を書き上げることができました。その後の修論試験(口頭試問)を経て、晴れて平成27年3月25日に大学院の修了を迎えた次第です。

## 千葉大学大学院客員教授となって —学びを還元する—

—この度の学位(教育学修士)取得並びに千葉大学(教職大学院)の客員教授へのご就任については、どのように受け止めていらっしゃいますか。

学位の取得よりも、多くの方々と学びを介して知り合いになれたことが何よりも大きな財産です。文部科学省の行政官、県及び市町村教育委員会職員、県及び市立学校の管理職や教職員、ストレートマスターの方々など、物の見方や考え方が多岐に渡る幅広い学びを通じた交流が大きな成果となりました。私にとって、かけがえのない経験でしたし、これからも市川の子供たちや教職員に広く供していきたいと思っています。

客員教授の件ですが、就任がどうこうというよりも、大学院在学中と同様に多くの職種の方々とお会いすることができ、学びを通して、私自身が成長できる機会を与えてもらったと受け止めています。そこで得た貴重な学びを市の子供たちや教職員、そして市川市教育委員会の職員の皆さんにリアルタイムで還元していきたいと思っています。

—大学院での学びの経験を、今後の市川市の教育行政にどのように生かしていこうとお考えですか。

教育行政に限って言えば、これまで学んだ事柄を施策事業に生かせればと思っています。併せて、教育委員会がより良い情報を生み出す専

門性の高いチームとして、その機能を果たすことができれば幸いと考えています。

## 生きるために学び続けて

—学ばせてくれるものは常に眼前に—

—市川市の子供たち及び保護者の方々、教職員並びに教育行政職員に何かメッセージはございますか。

学ぶ場は大学院だけではなくありません。ご自身が勤務されている職場であったり、現在、興味関心を抱き取り組んでいる事柄であったりするなど、個人によって学ぶ機会や場は様々です。自分に合った学びを模索しつつ、学ぶ姿勢を持ち続けることが大切なのではないでしょうか。

—講義(授業)はどのような内容なのでしょう。

講義名は「学校評価制度論」です。内容は各学校で実施されている「学校評価」と教育委員会が行う点検・評価(教育委員会評価)とを連動させることにより、そこで見えてくる成果及び課題をもとに、子供たちのニーズに寄り添い、より良い学校改善や施策事業の見直し、当初予算要求などの基礎資料として役立てることをねらいとしたものです。

履修生も、現職の公立学校の管理職、教職員、教育委員会職員、一般公務員、私立学校職員など、幅広い層の方が受講されます。また、履修生以外にも講義内容によっては、パネリストとして、教育再生実行会議有識者、中央教育審議会委員、文部科学省や千葉県教育委員会の行政官、大学教員等を招いて、『評価のあり方』についてディスカッションしたいとも考えています。

8月の第1週の6日(土)、第3週の20日(土)、第4週の27日(土)・28日(日)に千葉大学で講義(集中講義)していますので、気軽にお立ち寄りください。

—お話を伺いし、私たち教育委員会職員も常に学び続け、高い志を持つようにしなければならぬと強く感じました。貴重なお話をありがとうございました。【教育センター】



## 市川市放課後保育クラブ

保育クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生の放課後等において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供しています。そして、その健全な育成を図ることを目的として、市内46ヶ所(全小学校と義務教育学校の計39校と、一部の地域ふれあい館や公民館)に開設しています。また、平成18年度から指定管理者制度により、社会福祉法人市川市社会福祉協議会がすべての保育クラブを運営しています。



保育クラブに帰ってきた子供たちは、支援員のもとで宿題をしたり、友達と遊んだり、おやつを食べたりするなどして過ごしています。学校とは違った集団での生活は、子供たちにとっても良い経験となっているようです。他にも、保育クラブごとに遠足やお誕生会などのイベントも催されています。

保育料や入所の要件、申込方法などの情報は、市川市公式Webサイト内、青少年育成課のホームページでご案内しています。問い合わせ 047-383-9419

【青少年育成課】

# 歴史博物館企画展

## 「発見 体験 昔の暮らし」

今からおよそ60年前。昭和30年頃の生活を、道具と写真を使って体験できる企画展「発見 体験 昔の暮らし」を開催します。手押しポンプや蚊帳など、実際に触れたり、体験したりできる資料を多く展示します。

また、小学校団体向けの体験学習では、そりを履いての見学や、ろうそくやランプなどの明かりの変化を体験できる「あかりの部屋」なども実施します。

子供たちにとっては初めて見る道具も、保護者の方の中には、「懐かしい」と感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ぜひ博物館に来て、手に取ってみてください。

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 期間    | 9月13日(火)～2月3日(金)        |
| 時間    | 午前9時から午後4時30分           |
| 休館日   | 月曜日(月曜日祝日の場合は火曜日)       |
| 問い合わせ | 歴史博物館<br>(047-373-6351) |



【考古博物館】

# 『いちかわ子ども村』

様々な感動を子供たちへ

市川市青少年相談員連絡協議会は、子供たちとともに喜び、ともに語り、ともに行動することで地域の青少年健全育成推進の担い手として、子供たちが元気に明るく成長していくための手伝いをしています。

スポーツ、野外活動等を通じた体験学習等の促進、ボランティア活動等社会参加活動の推進、また、他の青少年団体と協力し、地域活動の活性化の促進など幅広い青少年健全育成活動を行っています。

様々な活動の中でも1番の行事である「いちかわ子ども村」は、集団生活の中で協力することがいかに大切であるかを体験してもらおうもので、市内在住・在籍の小学校4年生から6年生を対象に、毎年夏休みに市川市少年自然の家に宿泊する1泊2日のキャンプです。

この行事を成功させるために、半年以上前から「いちかわ子ども村実行委員会」を組織し、子供たちのために協議に協議を重ね準備をしています。

また、このキャンプのために毎年たくさんの高校生ボランティアが力を貸してくれます。

今年は、7月23日(土)、24日(日)に「感動をつくろう」をテーマに、班別対抗のスポーツゲームや水遊びを行い、ランタン作りをします。また、夕食はみんなで協力してカレーライスを作り、夜はホテル観賞会や昆虫観察を予定しています。

自分で考えながら行動し、いろいろな学校・学年の仲間と協力しながら普段の生活とは異なる体験ができるキャンプは、家族のありがたさを再確認し、新しい仲間との絆を深めるなど、子供たちがたくましく成長する絶好の機会です。

【青少年育成課】



# 市川の明日を支える若い力

教育委員会や幼稚園、学校の2年目の職員を対象とする「市川市新規採用教職員等研修会」の第1回目が6月2日、市川教育会館にて開かれました。この研修会は、教育委員や教育長、教育次長をはじめとする講師の方々を交えて、それぞれの職務についてグループで意見交流をすることで、日々抱える課題へのより良い取り組み方を考えることや、市川の教育についての理解を深めることを目的としています。

参加者は、昨年度末に作成した「1年間の職務を振り返って」というレポートをもとに成果や課題を発表しました。普段接する機会のない講師の方々を前に、初めは緊張した様子でしたが、交流が始まると時々笑い声が上がったり、それぞれの発言の後に拍手が起こったりと、徐々に和やかな雰囲気になっていきました。講師の方々も事前に参加者のレ

ポートを丁寧に読み、さらに一人一人の発表にメモを取りながら耳を傾けてくださいました。豊富な経験をもとにした的確な助言と、「いいことに気がつきましたね」などの温かい言葉がどのグループからも聞こえてきました。

2年目の職員ということもあり、集合時間や待ち時間の態度など研修に対する姿勢もすばらしく、これからの市川教育を担う頼もしさを感じた研修会となりました。この場での交流が、参加者にとっての新たな活力になることを願っています。【指導課】



## 使用教科書展示会

平成28年度使用教科書(小・中学校・義務教育学校)・平成29年度使用教科書(特別支援学校及び学級用)を展示します。

日時 7月21日(木)～8月31日(水) 午前10時～午後5時  
毎週月曜日と7月29日(金)は休館日のため除く

場所 市川市生涯学習センター3階 文学ミュージアム資料室

【指導課】



## 子供にかかわる相談は、ここでできます!

### ◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 火～土(午前9時～午後5時)

対象: 3歳～中学校3年生

様々な悩みに関して専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。



### ◆ほっとホットと訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 火～金(午後12時30分～午後5時)

対象: 小学校1年生～中学校3年生

不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

### ◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月～金(午前9時～午後5時※木は午後7時)

メールアドレス youngnet@city.ichikawa.chiba.jp

対象: 小学校1年生～20歳未満

家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。

本人の相談も可能です。

【教育センター】

# 『オープン・スクール・デー』

市川市小・中・義務教育・特別支援学校では、「地域に開かれた学校づくり」の一環として、自校の教育活動を、保護者だけでなく地域住民の皆様にも見ていただける『オープン・スクール・デー』を設定してい

ます。詳細については、各学校へお問い合わせください。日程につきましては市川市のWebサイトに掲載しています。

市川市ホームページ:

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/index.html>

【義務教育課】



# 歯を大切に! 豊かな人生を! 夏休みは博物館へ行こう!

6月1日(水)に「第42回市川市むし歯予防大会」が開催されました。各小・中学校、義務教育学校、特別支援学校で、健歯(むし歯がなく歯並びも良い)に選ばれた代表の児童生徒の審査会が開かれ、審査の結果、健歯の入賞者が決まりました。また、歯科衛生作品(図画・ポスター・作文)に入賞した児童の表彰も行われました。

表彰式で賞状をいただく姿は、さすが学校代表の皆さんと感じられる立派な態度でした。式の中では、健歯の入賞者に選ばれた皆さんの歯の映像も映し出され、これからも継続して歯を大切にしていけるよう、歯科医師の先生からお話も伺いました。80歳になって

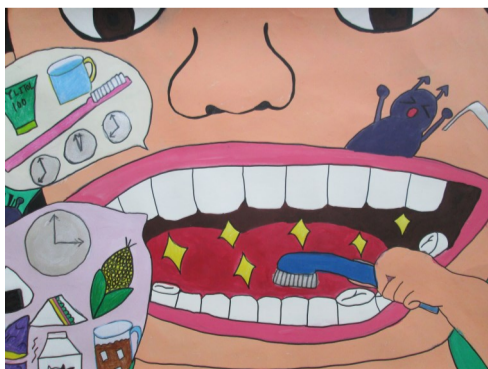
も自分の歯を20本以上保とうという『8020運動』を行っていますが、最近、これを満たすお年寄りの方が増えているそうです。歯を大切にしていることは、豊かな人生につながっていくことだと感じられます。

これからも、食事後の歯みがき等をしっかり行い、歯を大切にしていきましょう。【保健体育課】



## おめでとう! 優秀賞受賞者一覧

| 部門        | 学校名                              | 学年 | 氏名          |
|-----------|----------------------------------|----|-------------|
| 健歯児童      | 市川小<br>中山小<br>新浜小                | 6年 | 築地 巧登       |
|           |                                  | 6年 | 鯨坂 賢弘       |
|           |                                  | 6年 | 中村 悠斗       |
| 小学校<br>6年 | 中山小<br>大町小<br>富美浜小               | 6年 | 吉田 祐菜       |
|           |                                  | 6年 | 桑村 明里       |
|           |                                  | 6年 | 小倉 優花       |
| 健歯生徒      | 第六中<br>第八中<br>大洲中                | 3年 | 井上 愛斗       |
|           |                                  | 3年 | 町田 航        |
|           |                                  | 3年 | 伊藤 大志       |
| 中学校<br>3年 | 第五中<br>第七中<br>第八中                | 3年 | 小山 稀咲       |
|           |                                  | 3年 | 鈴木 歩梨       |
|           |                                  | 3年 | 古瀬 史香       |
| 図画の部      | 市川小<br>市川小<br>須和田の丘支援<br>須和田の丘支援 | 3年 | 吉田 萌々華      |
|           |                                  | 2年 | 橋本 陽        |
|           |                                  | 1年 | 座間 春弥 荒井 友晴 |
|           |                                  | 1年 | 植草 美優 中島 龍樹 |
| ポスターの部    | 市川小<br>国分小<br>須和田の丘支援<br>須和田の丘支援 | 5年 | 高橋 菜緒       |
|           |                                  | 5年 | 武川 璃名       |
|           |                                  | 4年 | 水流 史弥       |
|           |                                  | 4年 | 赤津 凜 山崎 和奏  |
| 作文の部      | 稲荷木小<br>須和田の丘支援                  | 6年 | 藤倉みどり       |
|           |                                  | 4年 | 桂下 洵太       |
|           |                                  | 4年 | 大久保果音 水流 史弥 |
|           |                                  | 4年 | 齋藤 由希 桂下 洵太 |



吉田萌々華さんの作品



武川 璃名さんの作品

考古・歴史博物館では夏休みにたくさんの行事を実施します。多くの方のご参加をお待ちしています。

### 企画展「大むかしのいちかわ〜米づくりがはじまったころ〜」

1. 期間 7月2日(土)~8月21日(日)
2. 場所 歴史博物館2階 特別展示室
3. 内容 弥生時代の出土品が少なかった市川市ですが、平成以降にムラの発見が相次ぎ、くらしの様子が少しずつわかってきました。今回は近年の代表的資料を展示し、弥生時代の市川をまとめます。また、夏休み期間であることから、子供が歴史に親しむ体験も用意しています。
4. 関連行事
  - (1) 展示解説 7月16日(土)・24日(日)・30日(土)、8月7日(日) 13日(土)・21日(日)の午前10時から1時間程度
  - (2) 記念講演会 「弥生時代とはどんな時代?」  
日時 7月30日(土) 午後2時から午後4時まで  
会場 歴史博物館2階 講堂  
講師 石川 日出志 先生(明治大学文学部長)  
参加費・申し込み不要、先着60名
  - (3) 子供向け行事(3才程度から小学校低学年まで)  
考古・歴史博スタンプラリー、ぬりえ作品展、発掘体験(発掘ごっこ)
5. 連絡先 考古博物館 担当:松本 047-373-2202



### 第8回 博物館サマーフェスタのお知らせ

1. 日時 8月20日(土) 午前10時から午後2時  
※雨天の場合は、考古・歴史博物館内にて縮小開催となります。
2. 会場 考古博物館前・歴史博物館広場・堀之内貝塚公園  
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
3. 内容 小学生の親子が楽しみながら学べる体験型のイベントを開催します。火おこし体験・勾玉づくり・組紐づくり・竹細工・お手玉・水鉄砲づくり(予約制) 博物館探検ツアー他  
※都合により、一部内容が変更になることがあります。  
※夏の暑い時期ですので、飲み物等は各自ご用意ください。
4. 連絡先 考古博物館 担当:領塚 047-373-2202

### 夏の体験学習・歴史地図作り

学芸員と史跡を巡り地図を作ります。対象は小学校3年生以上(原則として保護者同伴)で、人数は各回とも20名程度です。

- ☆第1回 日時 7月28日(木) 午前10時から12時頃まで  
場所 行徳周辺 行徳駅改札前集合
- ☆第2回 日時 8月4日(木) 午前10時から12時頃まで  
場所 里見公園 里見公園バラ園集合
- 申し込み方法: 往復ハガキに参加者の住所・氏名・年齢(学年)・電話番号・同伴の保護者名と、返信用の宛先を書き、歴史博物館へ。  
(〒272-0837 市川市堀之内2-27-1)



### 夏の体験学習・昔の洗濯体験

洗濯板やたらいを使って、昔の洗濯の仕方を体験できます。対象は小学生以上(保護者同伴可)で人数は10名程度です。

1. 日時 8月6日(土) 午前9時半から12時
  2. 場所 歴史博物館
- 申し込み方法: 歴史博物館へ電話または、歴史博物館窓口で受け付けています。【考古博物館】



この「教育いちかわ」はWebサイトでもご覧いただけます。「教育いちかわ」で検索、または市川市教育委員会のWebサイトからアクセスしてください。(「教育いちかわ」のバックナンバーも掲載しています。)